

# The National Conference of Community Cinemas 2015 in Niigata

## 全国コミュニティシネマ会議 2015 | 参加申込書

下記内容を、8月24日[月]までにEmailまたはファクシミリにてご送付下さい。ご出席申し込みに対しては、追って確認のご連絡を差し上げます。

\*定員を越えた場合、お申込を受けられない場合がございます。ご了承ください。

Email **kaigi2015@jc3.jp** \*件名に「コミュニティシネマ会議申込み」と記載の上、下記内容をメール本文に記入し送信してください。

Fax **03-3461-0760** \*下記フォームにご記入の上、ファックス送信してください。

所属 (ふりがな)

所属部署・職名等

氏名 (ふりがな)

住所

〒

電話番号

ファックス番号

Emailアドレス

●参加するものにチェックしてください

9月4日(金) 新潟県民会館小ホール/りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

13:30-18:15 会議(新潟県民会館小ホール)

19:00-20:15 水と土の芸術祭×Noism0『愛と精霊の家』(りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館)

20:15-21:30 レセプション(りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館)

9月5日(土) 国際映像メディア専門学校(i-MEDIA) 本館

10:00-12:00 ディスカッション:新しい映画上映のかたち~これから映画上映をはじめる人たちのために

13:00-14:30 分科会

分科会1:小さな町のコミュニティシネマ

分科会2:大きな町のコミュニティシネマ



### 会場のご案内

9月4日[金]

新潟県民会館小ホール

新潟市中央区一番堀通町3-13 <http://www.niigata-kenminkaikan.jp/>

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

新潟市中央区一番堀通町3-2 <http://www.ryutopia.or.jp/>

9月5日[土]

国際映像メディア専門学校(i-MEDIA) 本館

新潟市中央区古町通6番町976 <http://www.i-media.cc/>

シネ・ウインド

新潟市中央区八千代2-1-1 万代シティ第2駐車場ビル1F <http://www.cinewind.com/>

### |お問い合わせ|

コミュニティシネマセンター tel.050-3535-1573 film@jc3.jp / 新潟・市民映画館シネ・ウインド tel.025-243-5530 info@cinewind.com

|主催| 文化庁 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 / 一般社団法人コミュニティシネマセンター  
全国コミュニティシネマ会議新潟実行委員会(新潟市、新潟・市民映画館シネ・ウインド、国際映像メディア専門学校)

|制作| 一般社団法人コミュニティシネマセンター/新潟・市民映画館シネ・ウインド

|後援・協力| 「東アジア文化都市2015新潟市」実行委員会 / 新潟市 文化・スポーツコミッション/水と土の芸術祭実行委員会/(公財)新潟市芸術文化振興財団  
にいがたロケーションネットワーク/新潟県フィルムコミッション協議会/にいがた国際映画祭実行委員会/にいがた映画塾

# The National Conference of Community Cinemas 2015 in Niigata

## 全国コミュニティシネマ会議2015

2015年9月4日[金]・5日[土]

|会場|

9月4日[金]

新潟県民会館小ホール/りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

9月5日[土]

国際映像メディア専門学校(i-MEDIA) 本館/シネ・ウインド

|参加費|

一般:会議+Noism0公演...5,000円/会議のみ参加...1,500円

コミュニティシネマセンター会員:会議+Noism0公演...3,500円/会議のみ参加は無料(1団体1名まで)

\*9月4日、5日共に参加可。一部のみ参加も同じ

レセプション...3,000円

|お問い合わせ|

コミュニティシネマセンター tel.050-3535-1573 film@jc3.jp

新潟・市民映画館シネ・ウインド tel.025-243-5530 info@cinewind.com



# 全国コミュニティシネマ会議2015

今年の全国コミュニティシネマ会議は、さまざまなアート・イベントが開催され、注目を集める、“文化創造都市”新潟で開催します。

2020年の東京オリンピックに向けて、国も自治体も文化政策の転換期を迎えています。映画については、近年の日本映画振興策の指針となってきた

提言「日本映画の振興について」が出されて、すでに12年がたち、デジタル化という大きな変化を経て、振興策を見直すべき時期がきています。

また、“まちづくり”に対する関心が高まる中、町の大きさやあり方と、コミュニティシネマのあり方を考え直す必要もあります。

劇場を飛び出して、映画上映を、空間をつくることからはじめようとする新しい世代も、全国各地に生まれています。

今回の会議では、これからの10年、映画文化を豊かなものにするために、どんな上映振興策が求められるのかを考えます。

プログラム (予定) \*出演者等は変更になる場合がございます。ご了承ください。

9月4日[金]

新潟県民会館小ホール

13:30-13:45 主催者挨拶/コミュニティシネマセンター活動報告

13:50-15:00 **基調報告:文化創造都市・新潟と映画**

“新潟市文化創造都市ビジョン”を策定し、文化芸術の創造性を活かしたまちづくりを進める新潟市。「水と土の芸術祭」の開催、劇場専属舞踊団ダンス・カンパニーNoismを擁する「りゅーとびあ」(音楽・舞台芸術による創造活動)、マンガ・アニメを活かしたまちづくり、ユネスコ創造都市ネットワークの食文化(ガストロノミー)分野の認定に向けた取り組みなど、様々な文化施策を実施しています。文化創造都市ビジョンがどのように進められてきたのか、このビジョンに、映画がどう位置付けられているのかを聞きます。

登壇者:  
篠田昭(新潟市長)  
太下義之(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)  
小川弘幸(「水と土の芸術祭2015」総合ディレクター/文化現場代表)  
齋藤正行(シネ・ウインド代表)

15:10-17:00 **ディスカッション:文化政策の中の映画上映振興策**

映画振興策の指針となってきた提言「これからの日本映画の振興について」が出されて12年。この提言はどのような施策として実現したのか。2020年東京オリンピックを控え、文化政策も大きく動いています。その中で、求められる上映振興策とはどのようなものなのか。プレゼンテーションを元に話し合います。

川村健一郎(立命館大学映像学部教授/司会)  
富山省吾(日本アカデミー賞協会事務局長/元株式会社東宝映画社長)  
田井肇(大分シネマ5代表/コミュニティシネマセンター代表理事)  
加藤到(東北芸術工科大学教授/山形市創造都市推進協議会)ほか

プレゼンテーション:コミュニティシネマセンター

17:10-18:10 **プレゼンテーション:新潟のコミュニティシネマ**

映画館、映画祭、自主上映、学校…様々な新潟県内のコミュニティシネマを紹介します。  
シネ・ウインド/十日町シネマパラダイス/高田世界館/ながおか映画祭/国際映像メディア専門学校

りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館

19:00-20:15 「水と土の芸術祭2015」アートプロジェクトパフォーマンスプログラム

**水と土の芸術祭×Noism 0『愛と精霊の家』**

国際的に注目を集める演出振付家・金森穰が率いるNoism。日本初の公立劇場専属舞踊団として、りゅーとびあを拠点に2004年に活動を開始した。「水と土の芸術祭2015」のアートプロジェクトとして制作された『愛と精霊の家』は、Noismの新たなプロジェクト・カンパニー、Noism0によるもの。豪華メンバーによる一夜限りの記念公演は、演劇表現と舞踊表現が会おう、ジャンル横断的な舞台となる。



20:15- **レセプション**

9月5日[土]

国際映像メディア専門学校(i-MEDIA) 本館

10:00-12:00 **ディスカッション:新しい映画上映のかたち ~これから映画上映をはじめる人たちのために**

上映のデジタル化の進行により、映画の上映は格段に容易になりました。全国各地で新しい映画祭、上映会が次々に生まれています。野外上映やシネマ・カフェ、新しい映画上映の可能性を考えます。

宮崎善文(NPO松本CINEMAセレクト) / ISHINOMAKI金曜映画館/キノ・イグラー/シネコヤ ほか

12:00-13:00 休憩

13:00-14:30 **分科会**

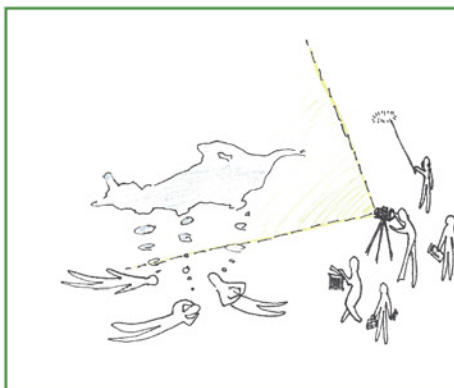
人口20万人以下の小さな町のコミュニティシネマ、政令指定都市や50万人以上の都市のコミュニティシネマ。共通する課題もありますが、大きな町ならではの課題、小さな町だからこそその悩みも少なくありません。いずれの分科会でも「人を育てる」(観客を育てる、上映者を育てる、つくりてを育てる、映画館を育てる、地域を育てる…)をキーワードに、コミュニティシネマの現状と課題を話し合います。参加者全員が出演者となる分科会です。

**分科会1:小さな町のコミュニティシネマ**

進行:河本清順(シネマ尾道)、杉原永純(山口情報芸術センター)、原茂樹(日田リベルテ) ほか  
人口が少ない町には映画館も少ない。上映の機会も限られている。観客も少ない、若者が少ない、映画・映像にまつわる仕事も限られていて、上映経験を積むことが難しい、多様な世代、観客層に対応することが求められる…そんな“小さな町”のコミュニティシネマ。けれど、小さな町だからこそできることもありそうです。

**分科会2:大きな町のコミュニティシネマ**

進行:山崎紀子(シネ・ヌーヴォ)、吉田由利香(京都市なみみ会館) ほか  
大きな町には映画館も多い。シネコンもあり、ミニシアターもあり、やりたい作品がすべてやれるわけではない。企画力をつけ、観客を開拓する必要があるがスタッフは限られている、イベントや特集にはお金がかかる…。こちらも課題はいろいろありますが、近隣の上映者がネットワークで情報を共有したり、連携で企画を実施したり…できることもありそうです。



関連企画

**友政麻理子「潟の夢」映画祭紹介** 「水と土の芸術祭2015」出品作品

市民の参加で、“潟”の夢を見、その夢の報告会を行い「潟にまつわる夢」の短編映画を制作、さらに上映会を行うことでコミュニケーションを生み、その交流の中から「潟」の像を浮かび上がらせようとするアートプロジェクトを紹介する。

<https://www.facebook.com/katanoyume>

9月5日[土] 15:00-17:00 会場:シネ・ウインド 入場無料